

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	重症心身障害児者施設ライフゆう	階数	地上3F、地下1F
建設地	横須賀市湘南国際村一丁目3542番	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	180人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2013年2月1日
敷地面積	5,748 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社安江設計研究所
建築面積	1,454 m <sup>2</sup>	確認日	2013年2月1日
延床面積	4,750 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社安江設計研究所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 91%  
上記+ 以外の: 91%  
上記+: 91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 1  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
共用部、住居部十分な開口があり、昼光率、昼光制御、空気環境に配慮している。周辺環境との調和を考慮し、植栽で圧迫感を軽減させている。個別空調運転等、環境配慮も考慮している。	0
<b>Q1 室内環境</b> ・遮音性能T-1等級の建具を使用。・間仕切り壁にはグラスウールを充填し、遮音性能を確保。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に積極的に緑地を設け、中高木と低高木をバランスよく配置した。通風、採光にも配慮し、熱環境の向上に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 合わせガラスを全面に採用し、開口部の断熱性能を向上させている。冷暖房負荷の軽減に繋がる。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保した。
<b>Q2 サービス性能</b> 主要室(1階多目的室)について、重症心身障害児者の利用者特性を考慮し、床に寝転がることを想定してタイルカーペットを選択。汚れても部分的な交換・補修がしやすい。壁は色柄の選択の幅が広いクロスとし、天井は吸音性の高い不燃化粧板とした。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 外壁材はリサイクル資材である陶磁器タイルを使用し、環境配慮に努めた。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される